

用語説明

酸素投与

鼻チューブやマスクを使い、鼻や口から高濃度の酸素を吸入します。

気管挿管

口から気管に管（挿管チューブ）を入れ、肺に強制的に空気を送り込みます。その後人工呼吸を行うこともあります。

気管切開

のど（気管）に手術で穴を開け、直接気管に管を入れて気道を確保します。この処置を行うと声を出せなくなります。

人工呼吸器

自力で呼吸ができない時、気管に入れた管から機械（人工呼吸器）で呼吸させます。一度装着すると、その後人工呼吸器を外すことは難しくなります。

末梢点滴による水分補給

一時的な脱水・栄養不足のときに、血管に注射して栄養補給を行います。

中心静脈栄養

深い静脈に太い管を奥まで入れ、高カロリー点滴で栄養補給を行います。管を入れる時に肺や血管を傷つけたり、感染を起こす可能性があります。

経鼻胃管

鼻から胃まで管を入れ、流動食を流し込んで栄養補給を行います。チューブが不快で抜いてしまったり、流動食が逆流して肺炎を起こすことがあります。

胃ろう

内視鏡の手術で皮膚から胃に穴を開け、胃に直接チューブを入れて栄養剤を入れます。チューブが不快で抜いてしまったり、チューブ周辺の皮膚がただれることがあります。

輸血・血液製剤の使用

貧血や血圧低下をきたしたとき、一時的に改善させるために投与します。

人工透析

機械を使って、血液を体外に出して老廃物を取り除き、再び体内へ戻します。毎回長時間の透析が必要で、一般的に生涯必要となります。

心肺蘇生

呼吸や心臓が止まった時、心臓マッサージや人工呼吸で一時的に救命します。